

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	講師	青柳 憲昌

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
「滋賀県草津市常盤地区(旧栗太郡北部)の近世における条里地割の変化—近世初期の『検地帳』と明治初期の『地籍図』の比較検討を通して—」	共著	2017年4月	『日本建築学会計画系論文集』(734号)	小西佐枝・青柳憲昌	1099-1107
「滋賀県における前室付三間社流造本殿の外観意匠の特徴」	共著	2017年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系』	小西佐枝・青柳憲昌	589-592
「台地型寺内町の防災防衛的特性」	共著	2017年7月	『歴史都市防災論文集』(第11号)	青柳憲昌・白井秀一郎・坪田叡伴・大場修	1-8
「法隆寺金堂壁画保存事業における『防災』の理念と手法」	単著	2017年7月	『歴史都市防災論文集』(第11号)	青柳憲昌	17-24
「『近代化遺産』概念の成立経緯と修理手法」	単著	2017年8月	『日本建築学会大会学術講演集梗概集』	坪田叡伴・青柳憲昌	323-324
「1955～56年の『伝統論争』期における建築界の伝統理解—建築家たちの『民家』への注視について—」	共著	2017年8月	『日本建築学会大会学術講演集梗概集』	菅谷英之・青柳憲昌	199-200
「舞鶴赤れんが倉庫群の保存と活用—市民のための『都市公園』」	単著	2017年11月	『建築士』782号	青柳憲昌	28-29

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
『近代の産業遺産の保存と多様で魅力的な活用—日本、ドイツ、オランダ、シンガポール、中国の事例—』	共著	2017年3月	科学研究費助成研究基盤研究(A)国際シンポジウム「近代の産業遺産の保存と活用に関する国際シンポジウム」予稿集	京都女子大学家政学部斎藤英俊研究室(編集:斎藤英俊・平賀あまな・北尾靖雅・西川博美・青柳憲昌)
「文化財建造物修理事業史(修理技術史)」	単著	2017年8月	文化財建造物修理主任技術者講習会、文化庁(於・黒田記念館)	青柳憲昌(パネリスト)
読売新聞「京町家建築新基準で活用『長江家住宅』宿泊施設に」	共著	2017年8月	読売新聞2017年8月31日30面	青柳憲昌(誌面にコメント掲載)
「草津市内に残る歴史的建造物を保護・活用するための調査」	共著	2017年11月	環びわ湖大学・地域コンソーシアム・大学地域交流フェスタ2017	菅谷英之・堀祐一郎・青柳憲昌・及川清昭・草津市教育委員会文化財保護課
「法隆寺金堂壁画の飛天はなぜ焼損しなかったか/法隆寺壁画収蔵庫の建築的特徴」	共著	2017年12月	「—法隆寺シンポジウム—法隆寺金堂壁画『飛天』の美に迫る」主催:法隆寺金堂壁画保存活用委員会、法隆寺、朝日新聞社、共催:文化庁、朝日新聞文化財団(於・有楽町朝日ホール)	青柳憲昌

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
「法隆寺金堂壁画 『飛天』の美に迫る」	共著	2017年12月	朝日新聞 2017年12月28日 21面	青柳憲昌（誌面にコメント掲載）

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
文化財指定：長瀬家茂八郎商店店舗兼主屋（登録有形文化財、文部科学省告示第八十九号）	単独	文化財指定業務（登録有形文化財）	『官報』号外138号掲載（2017年6月28日）
文化財指定：なべしま銘茶店舗兼主屋	単独	文化財指定業務（登録有形文化財）	『官報』号外138号掲載（2017年6月28日）
文化財指定：なべしま銘茶土蔵	単独	文化財指定業務（登録有形文化財）	『官報』号外138号掲載（2017年6月28日）
文化財指定：五島美術館本館	単独	文化財指定業務（登録有形文化財）	『官報』号外235号掲載（2017年10月27日）
文化財指定：富士見亭	単独	文化財指定業務（登録有形文化財）	『官報』号外235号掲載（2017年10月27日）
文化財指定：古経楼	単独	文化財指定業務（登録有形文化財）	『官報』号外235号掲載（2017年10月27日）

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	泉 知論

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
コンピュータのしくみ	共著	2017年1月	コロナ社	吉川雅弥, 泉知論	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Example-based Face Image Super-resolution Taking into Consideration Correspondence of Facial Parts	共著	2017年11月	Trans. on Electrical and Electronic Engineering (TEEE-C) (12巻6号)	S.Hamdan, Y.Fukumizu, T.Izumi, H.Yamauchi	917-924

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
高速カメラを用いた可視光通信のための光源追跡モジュールの並列化の検討	共著	2017年1月	電子情報通信学会 技術研究報告, Vol. 116, No.417, VLD2016-73, CPSY2016-109, RECONF2016-54, pp. 19-23	中原優, 泉知論, 孟林, 白木善史, 鎌本優, 守谷健弘
線分抽出パラメタの自動最適化による甲骨文字認識率の向上	共著	2017年2月	電子情報通信学会 技術研究報告, Vol. 116, No.464, IE2016-122, ITS2016-64, pp. 315-320	鈴木達也, 孟林, 泉知論
ガボールフィルタを用いた甲骨拓本からの文字領域の抽出	共著	2017年6月	電子情報通信学会 技術研究報告, vol. 117, no. 105, PRMU 2017-33, pp. 45-50	渡邊清威, 孟林, 泉知論
害獣対策のためのアライグマ画像データベースの構築と深層学習による動物画像分類の試行	共著	2017年6月	電子情報通信学会 技術研究報告, vol. 117, no. 105, PRMU 2017-34, pp. 51-56,	初田慎弥, 大野真史, 孟林, 泉知論
害獣自動認識のためのアライグマ画像データベースの構築と深層学習による認識の試行	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集, vol. 11, pp. 127-134	初田慎弥, 大野真史, 泉知論, 孟林
顔部品の位置を考慮した学習型顔画像超解像	共著	2017年9月	電気学会研究会資料, PI-17-080/IIS-17-085, pp. 21-26	スハイル・ハムダン, 福水洋平, 泉知論, 山内寛紀
アライグマの自動検出と監視カメラ向け実装の試行	共著	2017年9月	第282回 画像電子学会研究会講演7	初田慎弥, 大野真史, 泉知論, 孟林
Zynq 上のプロセッサ - ロジック間のストリーム接続のトレードオフ評価	共著	2017年11月	電子情報通信学会 技術研究報告, vol. 117, no. 279, RECONF 2017-47, pp. 61-66	國川大輝, 小森和希, 泉知論
ブロックノイズにより劣化した顔画像の学習型復元手法	共著	2017年11月	電気学会研究会資料, ST-17-077	ムハマド・ハムダン・ムハマド・スハイル, 福水洋平, 泉知論, 山内寛紀
監視委カメラ向けアライグマ自動検出の試行評価	共著	2018年1月	平成29年度 計測自動制御学会 関西支部・システム制御情報学会 若手研究発表会	初田慎弥, 大野真史, 泉知論, 孟林

研究業績書

対象期間	2017 年 1 月 1 日～ 2018 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	准教授	板谷（牛谷） 直子

論文					
著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
記憶地図から読む地域の景観の歴史—仁和寺門前地域を例に—	共著	2017 年 5 月	ランドスケープ研究 (vol. 81 巻 (1) 号)	河角直美・板谷直子・中谷 友樹・佐藤弘隆・谷崎友紀・ 前田一馬	22-25
「記憶地図」を用いた無形の文化遺産の再生—宮城県南三陸町志津川地区における地域の祭礼を事例として—	共著	2017 年 7 月	歴史都市防災論文集 (Vol. 11 巻)	板谷（牛谷）直子・谷端郷・ 中谷友樹	223-230

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	伊津野 和行

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
平成28年熊本地震による通潤橋の地震応答と耐震補強に関する研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集 (11巻)	萩原一帆・伊津野和行	71-78
通潤橋の地震応答特性に関する研究	共著	2017年9月	土木学会論文集A1(構造・地震工学)(73巻4号)	伊津野和行・石田優子・藤本将光・深川良一	I_1-I_8

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
2017九州豪雨による橋の被害	単独	立命館大学防災フロンティア研究センター2017年度第2回セミナー, メルパルク京都, 京都市	2017年10月20日～

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	大窪 健之

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Environmental Water Supply System (WSS) for Disaster Mitigation in Seismic Fire -Case Project in Kiyomizu World Cultural Heritage Zone-	単著	2017年6月	Abitare la Terra (international A class magazine) (No.42 巻)	Takeyuki Okubo	18-21
京都市先斗町における来遊者を対象とした避難シミュレーション -火災・地震発生時の混雑による渋滞に着目して-	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集 (vol.11 巻)	林田南実, 金度源, 大窪健之, 林倫子	151-158
積雪期を考慮した観光客の津波避難シミュレーション ~北海道函館市重要伝統的建造物群保存地区を対象として~	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集 (vol.11 巻)	金度源, 奥田直斗, 大窪健之, 林倫子	159-166
国宝松本城の震災時における観光客の避難誘導計画	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集 (vol.11 巻)	大窪健之, 紺谷渉, 金度源, 林倫子	167-174
京都市醍醐寺の地震防災拠点化に向けた一時滞在施設及び避難所としての利用可能性評価に関する研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集 (vol.11 巻)	吉田恭祐, 大窪健之, 金度源, 林倫子	183-190
京都市先斗町における火災危険性と初期消火能力に関する評価研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集 (vol.11 巻)	杉山貴教, 金度源, 大窪健之, 林倫子	199-206
水害伝承が住民の災害意識に及ぼす影響に関する一考察 -滋賀県長浜市木之本町石道地区を対象として-	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集 (vol.11 巻)	林倫子, 坂本正樹, 昌子知正, 金度源, 大窪健之	207-214

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Environmental Water Supply System (WSS) for Disaster Mitigation in Seismic Fire -Case Project in Kiyomizu World Cultural Heritage Zone-	単著	2017年6月	XV International Forum "World Heritage and Disaster"	Takeyuki Okubo
京都市先斗町における来遊者を対象とした避難シミュレーション-火災・地震発生時の混雑による渋滞に着目して-	共著	2017年6月	平成 29 年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第 57 号・計画系, pp. 389-392	林田南実, 大窪健之, 金度源, 林倫子
津波災害に対する避難所としての社寺の利用に関する研究 ~和歌山県串本町を対象とした空間と設備の評価と補完の提案~	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集, vol.11, pp. 199-206	金度源, 中塚脩斗, 大窪健之, 林倫子
Utilization of historic courtyards as evacuation site and involvement of local community for its management during 2015 Gorkha earthquake	共著	2017年12月	ICOMOS Scientific Symposium 2017	Lata SHAKYA, Sanshiro TAKASUGI, Dowon KIM and Takeyuki OKUBO
大阪府交野市倉治における伝統的水システム「取り水」の歴史と利用実態	共著	2017年12月	景観・デザイン研究発表会, 土木学会	林倫子, 森彩乃, 大窪健之, 金度源

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
ラジオ被取材：「地域防災に活かす文化的遺産、歴史的遺産」	単独	京都三条ラジオカフェ「きょうと・ひと・まち・であいもん」京都府建築士会、2017年5月6日放送、京都だより（京都府建築士会会報）pp. 10	2017年5月6日
招待講演：「Fire Mitigation Project for the Kiyomizu World Cultural Heritage Area in Kyoto, Japan -Research & Development for the Protection of Kiyomizu-dera Area from Fires Triggered by Earthquake in Kyoto-」	単独	Roughborough University (UK)	2017年5月8日
招待講演：「歴史「減災の知恵」を活かした防災まちづくり」	単独	文化遺産を活かしたまちづくり研究会、彦根芹橋辻番所	2017年7月2日
住民防災ワークショップ運営：「初期消火環境の整備へ向けた消火設備のデザイン検討」	単独	加悦重伝建地区防災学習会、旧尾藤家住宅	2017年7月10日
ワークショップ運営：参加型技術講演会「関西における国際観光と防災の未来」	共同	NPO 法人あすの夢土木、国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所	2017年7月19日
講義：「Countermeasures against Post-earthquake Fire Spread in Urban Districts—Water Supply System Improvement Plan in Kamigyo Ward and Surrounding Area of Kyoto City —」	単独	2017年度 JICA 専門家研修「世界遺産の適切な管理を通じた観光振興」、立命館大学朱雀キャンパス	2017年8月2日
講義：「京都の文化遺産を火災・災害から守る取り組み」	単独	2017年度マレーシア国別研修「MJIT 防災修士コース本邦プログラム」、JICA、立命館大学朱雀キャンパス	2017年8月2日
現地調査指導：「彦根市芹橋の防災まちあるき」	共同	文化遺産を活かしたまちづくり研究会、彦根芹橋辻番所	2017年9月30日
シンポジウム講演（パネルディスカッション）：「歴史都市の保全と継承政策」	共同	土曜講座 / 日本地域学会公開シンポジウム、衣笠キャンパス	2017年10月7日
招待講演：「主題1：火災警報即時発布系統之研發」および「主題2：木造建築密集区防延焼撒水系統之研發」	単独	106年提升古蹟歴史建築・消防安全管理検討会、内政部消防署（台湾）	2017年10月18日
パネルディスカッション講演：「復興の現場から学ぶ ハリテージマネージャーが、被災地域においてとるべき行動と災害に備えた体制と連携の構築を考える」	共同	京都市文化財マネージャー育成実行委員会、キャンパスプラザ京都	2017年10月29日
フィールドワーク指導：「防災教育フィールドワーク実習」	共同	京都府中学校社会科教育実践研究会、京都市先斗町界隈	2017年11月4日
講演：「世界遺産パタン地区の防災計画への取り組みと地震直後の状況」	共同	音楽と文化の交流フェスティバル 2017 in 京都 公演 (KUTUMBA BAND CONCERT in Kyoto)、衣笠キャンパス以学館	2017年11月23日

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
地域防災情報システム				特願2012-183136	特許第6238511号	日本
延焼防止用散水ノズル及びこれを用いた街路壁面散水システム				特願2013-102662		日本

研究業績書

対象期間	2017 年 1 月 1 日～ 2018 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	岡井 有佳

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
3 項道路指定における防災性能の担保に関する研究	共著	2017 年 7 月	歴史都市防災論文集 (11 号)	小池貴大・岡井有佳・加藤仁美・池宮秀平	135-142
密集市街地の防災性能向上と狭隘道路整備をめぐる政策的展開	共著	2017 年 7 月	歴史都市防災論文集 (11 号)	池宮秀平・加藤仁美・岡井有佳・小池貴大	275-280
住民主体の事前協議制度の実効性に関する研究～京都市姉小路界隈まちづくり協議会を事例として～	共著	2017 年 7 月	日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集 (15 巻 0 号)	坂上嘉隆・岡井有佳	85-88
鴨川から東山を眺める眺望景観保護に関する研究～空中開発権の買収による視線保護の検討～	共著	2017 年 8 月	2017 年度大会学術講演梗概集 F-1	二神夏菜子・山崎正史・岡井有佳	713-714
周囲の景観と調和した屋外広告物規制に関する研究～石川県金沢市を対象として	共著	2017 年 8 月	2017 年度大会学術講演梗概集 F-1	新井野優雅・岡井有佳	1117-1118
持続可能な道路空間の利活用方策に関する一考察～道路占用許可の特例制度に着目して～	共著	2017 年 8 月	2017 年度大会学術講演梗概集 F-1	桑迫修平・岡井有佳	335-338
地方都市における都市集約化の実現に向けた都市計画制度のあり方～用途地域のコンパクト化の意義と方策～	共著	2017 年 8 月	2017 年度大会学術講演梗概集 F-1	矢谷明也・岡井有佳	155-158
用途地域見直しの運用実態に関する研究～関西エリアの市町村を対象として～	共著	2017 年 8 月	2017 年度大会学術講演梗概集 F-1	吉田隼斗・岡井有佳	159-162
地区計画の実効性確保に関する研究～神戸市、世田谷区、尼崎市を研究対象として	共著	2017 年 9 月	日本建築学会計画系論文 文集 (82 巻 739 号)	岡井有佳・内海麻利	2351-2359
日仏の水害対策のための土地利用・建築規制	共著	2017 年 10 月	日本都市計画学会都市 計画論文集 (52 巻 3 号)	馬場美智子・岡井有佳	610-616

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	小川 圭一

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
京都市における観光資源としての文化遺産の評価と防災対策に対する支払意思額との比較	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集 Vol.11	小川圭一, 幸野直人, 安隆浩	215-222

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
京都市における観光資源としての文化遺産の評価と防災対策に対する支払意思額との比較	共著	2017年7月	第11回歴史都市防災シンポジウム	小川圭一, 幸野直人, 安隆浩

研究業績書

対象期間	2017 年 1 月 1 日～ 2018 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
政策科学部	助教	小野 聡

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Application of Geodesign to Impact Assessment in Japanese Public Facility Management	単著	2017 年	International Association of Impact Assessment Annual Conference 17	Satoru ONO	
統計教育の設計における「数学信念」の応用に関する一考察 - 立命館大学政策科学部での実践を通して -	単著	2017 年	立命館高等教育研究 (第 18 卷)		

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	片平 博文

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
貞和五年(1349)における堀川および鴨川の洪水	単著	2017年3月	京都歴史災害研究18	片平博文	1-15

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部	教授	鐘ヶ江 秀彦

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
自然災害による文化財の被害および修復費用に関する調査研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集 (11巻)	崔明姫、米島万有子、中谷友樹、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦	33-40
姫路城における大地震時の国内観光客の一斉帰宅抑制へ向けた滞在意図の変化に関する研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集 (11巻)	豊田祐輔、酒井宏平、崔明姫、鐘ヶ江秀彦	175-182
Recognizing and Integrating Indigenous Knowledge into Disaster Early Warning System in Mentawai	共著	2017年12月	Internet Journal of Society for Social Management Systems (11巻1号)	Zulfadrim, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	TBA

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
回覧板での地域情報取得行動に関する研究 - 地域情報化計画策定後の課題と既存メディアの位置付け -	共著	2017年3月	「日本計画行政学会第11回若手研究交流会 予稿集」Webpage	清水泰有*、小野聡、鐘ヶ江秀彦
Economic Impacts on Tourism Industry in the 2016 Kumamoto Earthquakes: Based on a Survey to Tourism Related Business Offices	共著	2017年5月	25th Pacific Conference of the RSAI: Sustainable & Resilient Regional Development	Cui Mingji*, Cui Qinglin, Sakai Kohei, Shimizu Hiroari, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko
A Study on Disaster Management for Tourists after Earthquake in Himeji Castle, World Cultural Heritage Site	共著	2017年5月	25th Pacific Conference of the RSAI: Sustainable & Resilient Regional Development	Toyoda Yusuke*, Sakai Kohei, Cui Mingji and Kanegae Hidehiko
A Study on effective Local Information Management in Nagakute City, Aichi Based on Resident's Behavior Factors of Getting Local Information by using "Kairanban"	共著	2017年5月	25th Pacific Conference of the RSAI: Sustainable & Resilient Regional Development	Hiroari SHIMIZU*, Satoru ONO, Hidehiko KANEGAE
A Basic Study about Developing the ABS Model for a Policy Inspection of Shelter Management in Tourism Area	共著	2017年7月	48th International Simulation And Gaming Association's Conference	Sakai Kohei, Shimizu Hiroari*, Cui Mingji, Toyoda Yusuke, Kanegae Hidehiko
Indigenous knowledge in disaster risk reduction for natural disaster a case study from West Sumatera	共著	2017年8月	4th International Seminar on Sustainable Urban Development (4th ISoSUD)	Zulfadrim*, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko
Recognizing and Integrating Indigenous Knowledge into Disaster Early Warning System in Mentawai	共著	2017年9月	"International Symposium of the 11th SSMS (Society for Social Management System) and the 5th RCND (Regional Conference on Natural Disaster) 2017"	Zulfadrim*, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
姫路城世界遺産観光客の帰宅・滞在支援に関する研究	共著	2017年10月	『日本地域学会第54回年次大会 学術発表論文集』(Webpage)	酒井宏平*, 崔明姫、豊田祐輔、 鐘ヶ江秀彦
Indigenous knowledge for disaster risk reduction in the perspective of indigenous community in Mentawai Island	共著	2017年10月	『日本地域学会第54回年次大会 学術発表論文集』(Webpage)	Zulfadrim*, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko
レジリエント・シティにおける地域情報化	共著	2017年10月	『日本地域学会第54回年次大会 学術発表論文集』(Webpage)	清水泰有*, Michaela Mercuri, Paora RIZZI、小野聡、鐘ヶ 江秀彦

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間 (西暦可)
Community Planning for Disaster Mitigation in the Higher Risk Century	共同	Center for Public Service, Portland State University "Community Disaster Resilience Speaker Series - Part 4" Market Center Building, Portland State University, Portland, Oregon, USA	2017年2月22日
平成28年度 姫路市大学発まちづくり研究助成事業報告書『姫路城観光客の避難・帰宅支援へ向けた防災計画に関する研究』	共同	平成28年度 姫路市大学発まちづくり研究助成事業	2017年2月

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	川崎 佑磨

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
DAMAGE EVALUATION OF ANTI-SEISMIC RUBBER BEARING USING ACOUSTIC EMISSION	共著	2017年1月	Proc. of 16th World Conference on Earthquake Engineering (710号)	Y. Kawasaki, N. Teramura, K. Izuno	
斜橋に対する津波作用力に関する基礎的研究	共著	2017年3月	構造工学論文集(63巻A号)	伊津野和行、川崎佑磨、中津研人	
鉄筋コンクリート構造物の鉄筋腐食に関する各種非破壊・微破壊診断手法	共著	2017年3月	日本非破壊検査協会(66巻3号)	大下英吉、川崎佑磨、高鍋雅則	135-140
ACOUSTIC EMISSION TECHNIQUE FOR EVALUATION OF DAMAGE TO LAMINATED RUBBER BEARING	共著	2017年3月	Journal of JSCE(5巻)	Yuma KAWASAKI, Naoto TERAMURA and Kazuyuki IZUNO	2-9
RI計器によるポーラスコンクリートの品質評価手法の提案に関する研究	共著	2017年7月	コンクリート工学年次論文集(39巻1号)	王子哲、安部良介、川崎佑磨、岡本享久	1471-1476
吸水防止剤を塗布したポーラスコンクリートの力学的・化学的特性に関する研究	共著	2017年7月	コンクリート工学年次論文集(39巻1号)	吉田貴保、川崎佑磨、新大軌、岡本享久	1477-1482
Acoustic Emission Behavior of Synthetic Fiber Reinforced Concrete under Flexure	共著	2017年9月	71st RILEM Annual Week & ICACMS 2017	Abdur Rasheed, M, Yuma Kawasaki, Suriya Prakash. S and Naoki Ogawa	577-586
Accuracy of Porosity Estimation of Porous Concrete Using Radio-Isotope Method	共著	2017年10月	CONCRETE 2017 Advanced in Concrete Materials and Structures	Zizhe Wang, Ryosuke Abe, Yuma Kawasaki and Takahisa Okamoto	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
ビニロン繊維で補強したポーラスコンクリートの性能評価に関する研究	共著	2017年5月	平成29年度 土木学会関西支部年次学術講演会	榊平知弥、川崎佑磨
Porosity Estimation of Porous Concrete by RI Method	共著	2017年8月	3rd World Congress on Materials Science & Engineering	Yuma KAWASAKI and Wang ZIZHE
Study on Quantity Control of Calcium Ion separated from Concrete Member	共著	2017年8月	3rd World Congress on Materials Science & Engineering	Yuki SHIMO, Hajime KAWAKANE, Takashi YAMANE and Yuma KAWASAKI
Study on Damage Assessment of Laminated Rubber Bearing using AE Technique	共著	2017年8月	3rd World Congress on Materials Science & Engineering	Akihiro TANAKA and Yuma KAWASAKI
Mechanical Properties of PVA Fiber Reinforced Porous Concrete	共著	2017年8月	3rd World Congress on Materials Science & Engineering	Tomoya MASUHIRA and Yuma KAWASAKI
AE法と電気化学的手法によるRC内部の鉄筋腐食進展のハイブリッド評価	共著	2017年9月	土木学会第72回年次学術講演会	川崎佑磨、権納拓央、伊津野和行

研究発表等				
発表題名	単著・ 共著の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
集束PBO 繊維を用いた超高強度繊維補強コンクリートの曲げ疲労特性	共著	2017年9月	土木学会第72回年次学術講演会	河野克哉、森香奈子、奥山幸成、小川真生、川崎佑磨、岡本享久
積層ゴム支承のAE技術を用いた損傷評価に関する研究	共著	2017年10月	第37回土木学会地震工学研究発表会	田中陽裕、川崎佑磨、伊津野和行
鋼板とコンクリート間の接着剥離面積が衝撃弾性波法における検出波形に与える影響	共著	2017年10月	第37回土木学会地震工学研究発表会	康田雄太、櫻井裕隆、川崎佑磨、伊津野和行

研究業績書

対象期間	2017 年 1 月 1 日～ 2018 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
文学部	准教授	河角 直美

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
近代京都の景観と金閣寺	単著	2017 年 1 月	立命館言語文化研究 (28 巻 3 号)	河角直美	41-48
明治中期における京都旅行—与謝野晶子の記録から—	単著	2017 年 3 月	立命館文学 (650 号)	河角直美	78-88
記憶地図から読む地域の景観の歴史—仁和寺門前地域を例に—	共著	2017 年 5 月	ランドスケープ研究 (81 巻 1 号)	河角直美・板谷直子・中谷友樹・佐藤弘隆・谷崎友紀・前田一馬	22-25
二つの『京都市明細図』の概要とその GIS データベースの構築—京都府立総合資料館所蔵本と長谷川家住宅所蔵本	共著	2017 年 11 月	地理学評論(90 巻 4 号)	河角直美・矢野桂司・山本俊平	390-400
デジタルアーカイブ写真の GIS 化とその活用—「京都の鉄道・バス写真データベース」の構築—	共著	2017 年 12 月	人文科学とコンピュータシンポジウム論文集 Vol. 2017 No. 2	山本峻平・佐藤弘隆・高橋彰・河角直美・井上学・矢野桂司	199-206
市民参加型 GIS による祭礼景観の復原—参加型 GIS の理論と応用	共著	2017 年	若林芳樹・今井修・瀬戸寿一・西村雄一郎 (編)『みんなで作り・使う地理空間情報』所収	矢野桂司・佐藤弘隆・河角直美	118-124

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
クラウドソーシングを活用した写真資料(古写真)の地理情報等の同定方法の検討とその課題—京都市電のデジタルアーカイブ写真を事例として—	共著	2017 年 10 月	地理情報システム学会第 26 回 学術研究発表大会(宮城大学)	高橋彰・河角直美・矢野桂司・山路正憲・山本俊平・佐藤弘隆・今村聡
デジタルアーカイブ写真の GIS 化とその活用—「京都の鉄道・バス写真データベース」の構築—	共著	2017 年 12 月	じんもんこん 2017 人文科学と コンピュータシンポジウム (大阪市立大学)	山本峻平・佐藤弘隆・高橋彰・河角直美・井上学・矢野桂司

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	准教授	金 度源

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
京都市先斗町における来遊者を対象とした避難シミュレーション-火災・地震発生時の混雑による渋滞に着目して-	共著	2017年6月	平成29年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第57号・計画系	林田南実, 大窪健之, 金度源, 林倫子	389-392
明治28年水害時における高時川の出水状況	共著	2017年6月	土木史研究・講演集, Vol.37	林倫子, 鈴木翔太, 金度源, 大窪健之	211-215
避難方法別にみた水害経験と避難意向との関係—滋賀県甲賀市三本柳地区を対象として—	共著	2017年6月	第55回土木計画学研究発表会・講演集	林倫子, 壺井克弥, 金度源, 大窪健之	27-33
積雪期を考慮した観光客の津波避難シミュレーション～北海道函館市重要伝統的建造物群保存地区を対象として～	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	金度源, 奥田直斗, 大窪健之, 林倫子	159-166
津波災害に対する避難所としての社寺の利用に関する研究～和歌山県串本町を対象にした空間の設備の評価と補完の提案～	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	金度源, 中塚脩斗, 大窪健之, 林倫子	281-288
京都市先斗町における来遊者を対象とした避難シミュレーション-火災・地震発生時の混雑による渋滞に着目して-	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	林田南実, 金度源, 大窪健之, 林倫子	151-158
京都市先斗町における火災危険性と初期消火能力に関する評価研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	杉山貴教, 金度源, 大窪健之, 林倫子	199-206
国宝松本城の震災時における観光客の避難誘導計画	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	大窪健之, 紺谷渉, 金度源, 林倫子	167-174
京都市醍醐寺の地震防災拠点化に向けた一時滞在施設及び避難所としての利用可能性評価に関する研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	吉田恭祐, 大窪健之, 金度源, 林倫子	183-190
水害伝承が住民の災害意識に及ぼす影響に関する一考察—滋賀県長浜市木之本町石道地区を対象として—	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	林倫子, 坂本正樹, 昌子知正, 金度源, 大窪健之	207-214
大阪府交野市倉治における伝統的水システム「取り水」の歴史と利用実態	共著	2017年12月	第13回景観・デザイン研究発表会論文集	林倫子, 森彩乃, 大窪健之, 金度源	
Utilization of historic courtyards as evacuation site and involvement of local community for its management during 2015 Gorkha earthquake	共著	2017年12月	ICOMOS Scientific Symposium 2017, Delhi India	Lata SHAKYA, Sanshiro TAKASUGI, Dowon KIM, Takeyuki OKUBO	査読付き ポスター 発表

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Engaging Communities for Disaster Risk Preparedness on Urban Heritages	単独	2017年3月	A Workshop on Conservation Principles and Recovery of Cultural Heritage in Nepal, Department of Archaeology Nepal, UNESCO, ICCROM, Ritsumeikan University	金度源
Protection of Cultural Heritage from Disasters Outline of the protection system and disaster risk reduction of Japanese Cultural Heritage	単独	2017年4月	Resilient Cultural Heritage: Learning from the Japanese Experience in DRM for Cultural Heritage and Sustainable Tourism/ World Bank TDD	Dowon Kim
Community Involvement Community involvement in towns to preserve cultural heritage in case of Preservation Districts for Groups of Historic Buildings	単独	2017年4月	Resilient Cultural Heritage: Learning from the Japanese Experience in DRM for Cultural Heritage and Sustainable Tourism/ World Bank TDD	Dowon Kim
歴史的な町並みの防災、学び、そして育てる	単独	2017年6月	第9回柳都新潟・古町花街シンポジウム まちを未来へ～防災と景観保全を考える～	金度源
Introduction and the Challenge of Disaster Risk Management System on Cultural Heritage	単独	2017年6月	2017文化遺産防災国際専門家会議、韓国文化財防災学会	金度源
歴史文化遺産を後世に残すための防災研究「木密地区を災害（火災）から守るための地域連携の重要性」木密地区の防災対策を京都・先斗町火災事例から学ぶ	共著	2017年10月	立命館大学プレスリリースセミナー	金度源、林田南実、大窪健之
International Initiatives on Disaster Risk Management of Cultural Heritage: Building capacity by UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management	単独	2017年12月	大韓建築学会大田忠南世宗支部国際学術シンポジウム	金度源
Capacity Building of Disaster Risk Management for Cultural Heritage Resilience	共著	2018年2月	Disaster Risk Management Expert Workshop: Enhancing Disaster Risk Management and Resilience Building, 2-3 February 2018, Sejong, the Republic of Korea	Dowon Kim and Rohit Jigyasu

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	小林 泰三

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Three dimensional displacement measurement of collapsing embankment using Sampling Moire Camera	共著	2017年11月	Proc. of the 12th International Symposium on Advanced Science and Technology in Experimental Mechanics (ISEM)	Tomoaki Nakajima, Motoharu Fujigaki, Yusei Senba and Taizo Kobayashi	#126 (5 pages)

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
自動式小型平板載荷・せん断試験ツールの開発と情報化施工への展開	共著	2017年7月	第52回地盤工学研究発表会	吉兼一晟、小林泰三、小田一磨
ポータブル式小型孔内せん断試験装置の開発	共著	2017年7月	第52回地盤工学研究発表会	志鷹伸太郎、小林泰三、平野圭都、佐々木峻之
UAV（小型無人飛行機）による盛土の品質管理手法の検討	共著	2017年9月	土木学会第72回年次学術講演会	小林泰三、藤原美波、戎剛史
UAV（小型無人航空機）による盛土の維持管理手法の検討	共著	2017年9月	土木学会第72回年次学術講演会	藤原美波、小林泰三、戎剛史

研究業績書

対象期間	2017 年 1 月 1 日～ 2018 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	里深 好文

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
豪雨のメカニズムと水害対策	共著	2017 年 2 月	株式会社エヌ・ティー・エス	三隅良平・中谷剛・荒木健太郎 他 45 名	125-129

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
家屋や道路が土石流の氾濫・堆積に及ぼす影響 —2014 年 8 月に発生した広島土砂災害を対象として—	共著	2017 年 1 月	砂防学会誌 (69 巻 5 号)	中谷加奈・小杉恵・里深好文・水山高久	3-10
1911 年稗田山崩れによる河道閉塞形成過程の再現計算	共著	2017 年 1 月	砂防学会誌 (69 巻 5 号)	久保毅・岩田幸泰・城ヶ崎正人・渡邊剛・田端泰三・内田太郎・里深好文	35-42
不透過型砂防堰堤における鋼製部材を用いた流木対策工の捕捉機能に関する基礎的な実験	共著	2017 年 3 月	土木学会論文集 B1 (水工学) (73 巻 4 号)	原田紹臣・高山翔揮・里深好文・水山高久・中谷加奈	I-I ₁
土石流の偏心角が鋼製透過型砂防堰堤の捕捉機能に及ぼす影響	共著	2017 年 3 月	土木学会論文集 B1 (水工学) (73 巻 4 号)	中谷加奈・長谷川祐治・里深好文・水山高久	I-I ₁
白川流域の洪水による歴史的建造物への影響評価 —熊本地震および阿蘇山噴火を考慮した流出解析—	共著	2017 年 7 月	歴史都市防災論文集 (第 11 巻)	梶山敦司・里明信・里深好文	111-118

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	教授	鈴木 祥之

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
伝統木造の束の回転めり込みメカニズムと定式化	共著	2017年6月	日本建築学会構造系論文集(82巻736号)	棚橋秀光, 大岡優, 鈴木祥之	853-861
伝統構法木造建築物の復元力特性と耐震性能	単著	2017年6月	日本ばね学会会報(549巻)	鈴木祥之	2-3
平成28年(2016年)熊本地震で被災した八王神社の解析的研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	瀧野敦夫, 佐藤滯, 向坊恭介, 鈴木祥之	49-56
悉皆調査に基づく2016年熊本地震における伝統構法木造建築物の被害と柱脚移動の分析	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	向坊恭介, 佐藤英佑, 鈴木祥之	57-64
2016年熊本地震における被災した伝統構法木造建物の3次元地震応答解析	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	村田晶, 八木耀平, 鈴木祥之, 宮島昌克	65-70
伝統構法木造仕口の復元力特性と摩擦の効果	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	棚橋秀光, 吉富信太, 須田達, 大岡優, 岩本いづみ, 鈴木祥之	87-94
伝統構法木造軸組における土塗り小壁の復元力評価法	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	山田耕司, 中治弘行, 長瀬正, 鈴木祥之	95-102
実大実験に基づく土塗り小壁付木造軸組の復元力特性	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	中治弘行, 長瀬正, 山田耕司, 鈴木祥之	103-110
加子母明治座の耐久性調査	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	藤井義久, 藤原裕子, 鈴木祥之	255-258
伝統木造T字型仕口の回転めり込み特性と定式化	共著	2017年9月	日本建築学会構造系論文集(82巻739号)	棚橋秀光, 大岡優, 鈴木祥之	1403-1411

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
土塗り小壁付木造軸組の復元力特性への垂れ壁高さの影響	共著	2017年7月	日本建築学会大会 学術講演梗概集	中治弘行, 長瀬正, 鈴木祥之
平成28年(2016年)熊本地震における建築物被害の外観悉皆調査 その1 上益城郡小谷地区の被害	共著	2017年7月	日本建築学会大会 学術講演梗概集	向坊恭介, 大岡優, 村田晶, 松本慎也, 佐藤英佑, 鈴木祥之
平成28年(2016年)熊本地震における建築物被害の外観悉皆調査 その2 阿蘇郡西原村布田地区の被害	共著	2017年7月	日本建築学会大会 学術講演梗概集	大岡優, 向坊恭介, 中治弘行, 瀧野敦夫, 向井洋一, 鈴木祥之
伝統構法木造仕口の繰り返し復元力特性に関する研究(その1) 摩擦を除去した回転めり込み実験	共著	2017年7月	日本建築学会大会 学術講演梗概集	吉富信太, 棚橋秀光, 岩本いづみ, 鈴木祥之

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
伝統構法木造仕口の繰り返し復元力特性に関する研究（その2）摩擦を含む回転めり込み実験	共著	2017年7月	日本建築学会大会 学術講演梗概集	須田達、棚橋秀光、大岡優、鈴木祥之
平成28年（2016年）熊本地震で被災した神社の被害状況に関する解析的研究	共著	2017年7月	日本建築学会大会 学術講演梗概集	佐藤滯、池内砂織、瀧野敦夫、向坊恭介、鈴木祥之

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
講演「伝統構法木造建築物の耐震設計マニュアル」	共同	高山市役所内4階中会議室	2017年12月9日
講演「伝統構法の最新情報」,「新・木造の家」設計コンペ講演会	単独	林野庁九州森林管理局大会議室	2017年12月9日

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	高橋 学

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
自然と人間の関係の地理学	共編	2017年 9月30日	古今書院	安田喜憲、高橋学	全192頁

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
「都市型災害」と「村お越し型災害」の発生メカニズム	単著	2017年1月	立命館文学659号	高橋学	162-177頁
環太平洋の災害と文明	単著	2017年2月	自然と人間の関係の地理学、古今書院	高橋学	159-185頁
巨大地震・大地震は突然に起きない	単著	2017年2月	環太平洋文明研究1号	高橋学	1-10頁
環太平洋地域における地震・火山噴火とその災害	単著	2017年3月	立命館文学650号	高橋学	479-457頁

研究業績書

対象期間	2017 年 1 月 1 日～ 2018 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	武田 史朗

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
オランダの空間計画における「空間の質」の分野横断的受容の過程およびその定義の変遷	単著	2017 年 7 月	ランドスケープ研究 (オンライン論文集) (10 巻)	武田 史朗	80-92

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
東山慈照寺庭園における「入る」「出る」で指摘される屋外の空間領域に対して空間構成要素が与える影響	共著	2017 年 6 月 24 日	平成 29 年度 日本建築学会 近畿支部研究発表会	松井亮平・武田史朗・山口純
富山県議会での立山カルデラの保全・活用に関する議論の展開プロセスに関する研究	共著	2017 年 6 月 24 日	平成 29 年度 日本建築学会 近畿支部研究発表会	楠本鮎美・山口純・武田史朗
緑の空間における VR 技術を用いた呈示方法の特性と有用性に関する研究	共著	2017 年 6 月 25 日	平成 29 年度 日本建築学 近畿支部研究発表会	寺田穂・山口純・武田史朗
市民開放型キャンパスが「まち」にもたらす効果と役割 立命館大学大阪いばらきキャンパスを事例として	共著	2017 年 8 月 31 日	平成 29 年度日本建築学会 全国大会（中国）	武田史朗・長谷川哲・及川清昭・宮田亮平
大学キャンパスにおけるフロントゾーンの役割と位置付け 立命館大学びわこ・くさつキャンパスを事例として	共著	2017 年 8 月 31 日	平成 29 年度日本建築学会 全国大会（中国）	大藪康成・武田史朗・及川清昭
立命館大学大阪いばらきキャンパスにおけるラーニング・プレースの考え方と利用実態（その 2）	共著	2017 年 9 月 1 日	平成 29 年度日本建築学会 全国大会（中国）	河合孝一郎・武田史朗・及川清昭
自然葬による日本の葬送儀礼の再編成 亀岡新火葬 場計画エリアにおける葬送空間のケーススタディ	共著	2017 年 9 月 1 日	平成 29 年度日本建築学会 全国大会（中国）	廣田竜介・武田史朗
西の湖の湿地景観資源を維持活用する滞在型観光プログラムの開発と景観デザイン	共著	2017 年 9 月 1 日	平成 29 年度日本建築学会 全国大会（中国）	松崎篤洋・武田史朗
進化したデジタルネットワーク時代における環境調整装置としての建築デザイン	共著	2017 年 9 月 3 日	平成 29 年度日本建築学会 全国大会（中国）	幸田進之介・武田史朗
京都市「壬生オアシスガーデン」において民間サービス導入によるちびっこひろばの自主運営・管理に向けた取り組み	共著	2017 年 10 月	平成 29 年度 日本造園学会関西支部大会	辻野真史・村田期平・武田史朗・梶野浩一
電車公園における管理運営への参加意欲に関する住民意識	共著	2017 年 10 月	平成 29 年度 日本造園学会関西支部大会	平井啓介・武田史朗・山口純
関西における大学キャンパスの変遷と動向	共著	2017 年 10 月	平成 29 年度 日本造園学会関西支部大会	松宮周平・武田史朗

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部	准教授	豊田 祐輔

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Emergency Preparedness in Shopping Arcade Areas for Disaster in Ibaraki City	共著	2017年3月	"Journal of Regional Information and Development (Bulletin of the Research and Development Institute on Regional Information)"(6号)	Suvannavong Thanyarat, Denpaiboon Chaweewan and Toyoda Yusuke	80-92
Evaluating collaboration projects between university and community by social capital: A case study of Satoyama project and Gardening project at Ritsumeikan University	共著	2017年3月	"Journal of Regional Information and Development (Bulletin of the Research and Development Institute on Regional Information)"(6号)	Phiwsuwan Tunpisa, Denpaiboon Chaweewan and Toyoda Yusuke	66-79
Evaluating Community Activities Based on Core Competency: Case Study on Network of Ban Jum Rung Community Organization	共著	2017年3月	"Journal of Regional Information and Development (Bulletin of the Research and Development Institute on Regional Information)"(6号)	Nisayoung Kingfa, Denpaiboon Chaweewan and Toyoda Yusuke	52-65
「社会人基礎力」をグループ活動に適用した短期国際PBL研修の評価	単著	2017年3月	地域情報研究 - 立命館大学地域情報研究所紀要 - (6号)	豊田祐輔	93-105
Contribution of Gaming Simulation in Building Community-based Disaster Risk Management Applying Japanese Case to Flood Prone Communities in Thailand Upstream Area	共著	2017年3月	International Journal of Disaster Risk Reduction (21巻)	Tanwattana Puntita and Toyoda Yusuke	199-213
自然災害による文化財の被害および修復費用に関する調査研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集 (11巻)	崔明姫、米島万有子、中谷友樹、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦	33-40
姫路城における大地震時の国内観光客の一斉帰宅抑制へ向けた滞在意図の変化に関する研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集 (11巻)	豊田祐輔、酒井宏平、崔明姫、鐘ヶ江秀彦	175-182
Recognizing and Integrating Indigenous Knowledge into Disaster Early Warning System in Mentawai	共著	2017年12月	Internet Journal of Society for Social Management Systems (11巻1号)	Zulfadrim, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	TBA
Gaming Simulations as the Medium for Disaster Education in Schools and Community-based Disaster Risk Reduction	単著	2018年	Internet Journal of Society for Social Management Systems	Toyoda Yusuke	forthcoming

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Economic Impacts on Tourism Industry in the 2016 Kumamoto Earthquakes: Based on a Survey to Tourism Related Business Offices	共著	2017 年 5 月	25th Pacific Conference of the RSAI: Sustainable & Resilient Regional Development	Cui Mingji*, Cui Qinglin, Sakai Kohei, Shimizu Hiroari, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko
A Study on Disaster Management for Tourists after Earthquake in Himeji Castle, World Cultural Heritage Site	共著	2017 年 5 月	25th Pacific Conference of the RSAI: Sustainable & Resilient Regional Development	Toyoda Yusuke*, Sakai Kohei, Cui Mingji and Kanegae Hidehiko
A Basic Study about Developing the ABS Model for a Policy Inspection of Shelter Management in Tourism Area	共著	2017 年 7 月	48th International Simulation And Gaming Association's Conference	Sakai Kohai, Shimizu Hiroaki*, Cui Mingji, Toyoda Yusuke, Kanegae Hidehiko
Indigenous knowledge in disaster risk reduction for natural disaster a case study from West Sumatera	共著	2017 年 8 月	4th International Seminar on Sustainable Urban Development (4th ISoSUD)	Zulfadrim*, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko
Gaming Simulation as Medium between Disaster Education in Schools and Community-based Disaster Risk Reduction	単著	2017 年 9 月	"International Symposium of the 11th SSMS (Society for Social Management System) and the 5th RCND (Regional Conference on Natural Disaster) 2017"	Toyoda Yusuke
Recognizing and Integrating Indigenous Knowledge into Disaster Early Warning System in Mentawai	共著	2017 年 9 月	"International Symposium of the 11th SSMS (Society for Social Management System) and the 5th RCND (Regional Conference on Natural Disaster) 2017"	Zulfadrim*, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko
公助と共助に対する期待が自助行動意図に与える影響に関する研究	共著	2017 年 10 月	『日本地域学会第 54 回年次大会 学術発表論文集』（Webpage）	留野僚也*、豊田祐輔
姫路城世界遺産観光客の帰宅・滞在支援に関する研究	共著	2017 年 10 月	『日本地域学会第 54 回年次大会 学術発表論文集』（Webpage）	酒井宏平*、崔明姫、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦
Indigenous knowledge for disaster risk reduction in the perspective of indigenous community in Mentawai Island	共著	2017 年 10 月	『日本地域学会第 54 回年次大会 学術発表論文集』（Webpage）	Zulfadrim*, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko
地域防災活動への参加誘因に関する研究	単著	2017 年 12 月	『第 8 回横幹連合コンファレンス』（USB）	豊田祐輔
構造物に依存しないソフト防災の現状と課題と可能性	共著	2017 年 12 月	『第 8 回横幹連合コンファレンス』	川脇康生、豊田祐輔、廣井悠、北村士朗、中西晶、有馬昌宏
コミュニティ防災用シミュレーション&ゲーミングを用いた教育と研究	単著	2017 年 12 月	『第 8 回横幹連合コンファレンス』（USB）	豊田祐輔

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
防災（災害）に強いまちづくり～住民によるボトムアップ～	単独	『平成 28 年度 せつつ生涯学習大学院生涯学習リーダー養成講座①』 摂津市	2017 年 1 月 26 日
今後の災害と企業防災の現状	単独	京都市ごみ減量推進会議『ゴミ減量実践講座 企業防災とごみ減量の意外な関係』 京都私学会館、京都市	2017 年 2 月 3 日

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
Community Planning for Disaster Mitigation in the Higher Risk Century	共同	Center for Public Service, Portland State University "Community Disaster Resilience Speaker Series - Part 4" Market Center Building, Portland State University, Portland, Oregon, USA	2017年2月22日
Disaster Events for Promoting Multiple Participation	単独	in Class of Sustainable Cities and Regions, of Toulon School of Urban Studies and Planning, Portland State University (Class for graduate students)" Portland State University, Portland, Oregon, USA	2017年2月22日
地域防災の現状と産・学の連携	単独	中小企業サポート隊『中小企業サポート隊防災セミナー 災害から生活を守る 産・学の取り組み』阿倍野市民学習センター、大阪市	2017年2月25日
平成28年度 姫路市大学発まちづくり研究助成事業報告書『姫路城観光客の避難・帰宅支援へ向けた防災計画に関する研究』	共同	平成28年度 姫路市大学発まちづくり研究助成事業	2017年2月
ニュースほっと関西（姫路城における大地震時の帰宅困難観光客支援研究の紹介ならびコメント）	単独	『NHK』（近畿地方域内）	2017年3月8日
ニュース KOBE 発（姫路城における大地震時の帰宅困難観光客支援研究の紹介ならびコメント）	単独	『NHK』（兵庫県内）	2017年3月8日
NEWS ウィズ（三重県の津波碑の住民認知に関する研究の紹介ならびにコメント）	単独	三重テレビ	2017年5月11日
防災ゲーム（大阪府土木事務所共同）	共同	いばらき×立命館 DAY2017（立命館大学主催）	2017年5月21日
Policy Analysis for Community-based Disaster Risk Reduction	単独	Training Course on "The Government Think Tank" held by Research and Development Institute of Regional Information of Ritsumeikan University, participated by the National Development Planning Agency of Indonesia (BAPPENAS), Osaka Ibaraki Campus of Ritsumeikan University, Ibaraki City, Osaka	2017年7月21日
防災（災害）に強いまちづくり～住民によるボトムアップ～	単独	『平成29年度 せつつ生涯学習大学』摂津市立コミュニティプラザ、摂津市	2017年8月3日
効果的な防災活動を考える	単独	京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 災害リスクマネジメント工学（JR西日本）講座『第14回市民講座－災害リスクを考える－地震・津波災害に備える』、神戸三宮東急 REI ホテル、神戸、兵庫	2017年10月21日
Disaster Mitigation for Tourism City	単独	"15th Collaborative Workshop on Policy Formation for Urban Development and Tourism City in Osaka" the College of Policy Science of Ritsumeikan University and the Faculty of Architecture and Urban Planning of Thammasat University, Ritsumeikan University, in Osaka, Japan	2017年12月14日

研究業績書

対象期間	2017 年 1 月 1 日～2018 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	中谷 友樹

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
セミパラメトリック GWR モデリングによる空間分析－社会関係と主観的健康の関連性にみられる地域差－	単著	2017 年	立命館文学 (650 巻)	中谷友樹	283-297
地理的犯罪予測研究の潮流	共著	2017 年	GIS－理論と応用, 25 (1)	大山智也・雨宮護・島田貴仁・中谷友樹	33-43
全国調査からみた文化財保有社寺における犯罪被害	共著	2017 年	歴史都市防災論文集 Vol. 11	中谷友樹・米島万有子・崔明姫	25-32
「記憶地図」を用いた無形の文化遺産の再生－宮城県南三陸町志津川地区における地域の祭礼を事例として－	共著	2017 年	歴史都市防災論文集 Vol. 11	板谷(牛谷)直子・谷端郷・中谷友樹	223-230
自然災害による文化財の被害および修復費用に関する調査研究	共著	2017 年	歴史都市防災論文集 Vol. 11	崔明姫・米島万有子・中谷友樹・豊田祐輔・鐘ヶ江秀彦	33-40
国勢調査小地域集計データにおける「不詳」分布の地理的特徴	共著		地理学評論, (印刷中)	埴淵知哉・中谷友樹・村中亮夫・花岡和聖	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
全国調査からみた文化財保有社寺における犯罪被害	共著	2017 年 7 月 1 日	第 11 回歴史都市防災シンポジウム, 立命館大学衣笠キャンパス, 京都	中谷友樹・米島万有子・崔明姫
「記憶地図」を用いた無形の文化遺産の再生－宮城県南三陸町志津川地区における地域の祭礼を事例として－	共著	2017 年 7 月 1 日	第 11 回歴史都市防災シンポジウム, 立命館大学衣笠キャンパス, 京都	板谷(牛谷)直子・谷端郷・中谷友樹
自然災害による文化財の被害および修復費用に関する調査研究	共著	2017 年 7 月 1 日	第 11 回歴史都市防災シンポジウム, 立命館大学衣笠キャンパス, 京都	崔明姫・米島万有子・中谷友樹・豊田祐輔・鐘ヶ江秀彦
Neighborhood noise and sleep: An analysis of a nationwide online survey in Japan.	共著	3-7 July 2017	the 17th International Medical Geography Symposium, University of Angers, Angers, France. (Poster presentation)	Hanibuchi, T. and Nakaya, T.
Testing the Deprivation Amplification Hypothesis in Korean Context.	共著	4 July 2017.	the 17th International Medical Geography Symposium, University of Angers, Angers, France,	Sohn, C. and Nakaya, T
Where neighbourhood social relations matter for your health?: A semiparametric GWR analysis on the association between neighbourhood social relationships and self-rated health in the Tokyo metropolitan region, Japan.	共著	6 July 2017.	the 17th International Medical Geography Symposium, University of Angers, Angers, France,	Nakaya, T., Hanibuchi, T., Honjo, K

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
地理学 / 地理情報科学と犯罪学の連携	単著	2017年 9月2日	第54回日本犯罪学会総会シンポジウム「犯罪学の更なる発展に向けて—学際的・実践的連携を考える—」國學院大学, 東京	中谷友樹
犯罪発生の時空間地図	単著	2017年 10月6日	東京都・警視庁共催 子供・女性の安全対策に関するシンポジウム「犯罪の起きにくい社会づくりの実現に向けて」, 都議会議事堂, 東京	中谷友樹
Space-time cube を利用した時空間カーネル密度推定および関連する分析的可視化環境の開発	単著	2017年10月 28-29日	第26回地理情報システム学会研究発表大会、宮城大学、宮城県大和町、ポスター発表	中谷友樹
スペースシンタックス理論に基づく道路構造と地域住民のリスク認知との関係	共著	2017年10月 28-29日	第26回地理情報システム学会研究発表大会、宮城大学、宮城県大和町、ポスター発表	谷端郷・村中亮夫・中谷友樹
時間別滞留人口分布に基づく都市空間構造の把握—モバイル空間統計の活用—	共著	2017年10月 28-29日	第26回地理情報システム学会研究発表大会、宮城大学、宮城県大和町、ポスター発表	花岡和聖・中谷友樹・矢野桂司
空間可変回帰係数の推定における空間スケールの重要性	共著	2017年 10月29日	第26回地理情報システム学会研究発表大会、宮城大学、宮城県大和町	村上大輔・Paul Harris・Binbin Lu・中谷友樹
居住地レベルの健康格差の地図：がん登録・人口動態統計を用いて、シンポジウム「公的統計を用いた健康格差指標のモニタリングと対策への活用に向けて」	単著	2017年 11月1日	第76回日本公衆衛生学会総会、かごしま県民交流センター	中谷友樹
近隣の社会的断片化指標—ソーシャル・キャピタルおよび健康指標との関連について—	共著	2017年 11月2日	第76回日本公衆衛生学会総会、かごしま県民交流センター	埴淵知哉・中谷友樹
全国社寺調査からみた文化財保有社寺における獣害—アライグマ・ハクビシンの侵入被害を中心に—	共著	2017年 12月10日	関西野生生物研究所・歴史都市防災研究所共催「アライグマ・ハクビシンシンポジウム2017」, 立命館大学歴史都市防災研究所, 京都	米島万有子・中谷友樹

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
中谷友樹：予防医学の考えに基づく犯罪予防、警視庁子ども・女性の安全対策に関する有識者研究会「警視庁子ども・女性の安全対策に関する有識者研究会提言書」警視庁, 89-102.	単独		2017

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月(西暦可)
地理情報システム学会	ポスターセッション賞 中谷友樹	「Space-time cube を利用した時空間カーネル密度推定および関連する分析的可視化環境の開発」	2017年10月29日
日本公衆衛生学会	第76回日本公衆衛生学会総会ポスター賞 埴淵知哉・中谷友樹	「近隣の社会的断片化指標—ソーシャル・キャピタルおよび健康指標との関連について—」	2017年11月2日

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	准教授	花岡 和聖

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
本書で用いた地図表現と分析手法（宮澤仁編『地図でみる日本の健康・医療・福祉』）	分担執筆	2017年3月	明石書店	花岡和聖・宮澤仁	8-10
救急医療（宮澤仁編『地図でみる日本の健康・医療・福祉』）	分担執筆	2017年3月	明石書店	花岡和聖	62-65

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Have destination choices of foreign residents contributed to reducing regional population disparity in Japan? Analysis based on the 2010 population census microdata	共著	2017年1月	Population, Space and Place (23巻1号)	Hanaoka, K., Ishikawa, Y., Takeshita, S.	e1975
公然わいせつに関連する犯罪発生場所の時間的・地理的特徴：地理情報システムを活用した空間分析	単著	2017年1月	立命館文学（649巻）	花岡和聖	197-205
小地域人口マイクロデータの推計手法に関する検討：Iterative Proportional Updating と焼きなまし法の比較	単著	2017年3月	立命館文学（650巻）	花岡和聖	410-421
山奈宗真著『岩手沿岸古地名考』の書誌学的検討と内容分析	共著	2017年3月	歴史地理学(59巻2号)	谷端郷・村中亮夫・塚本章宏・花岡和聖・磯田弦	27-42

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Chernobyl and Fukushima - demographic trajectories after nuclear disaster	共著	2017年9月	EUGEO 2015	David Karácsonyi and Hanaoka Kazumasa

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	平尾 和洋

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
The Impact of the Natural Lighting and Ventilation in Therapeutic Buildings: An Environmental Field Study in Makkah, Saudi Arabia	共著	2017年2月	Journal of Civil Engineering and Architecture (11巻2号)	Alanoud Abdulaziz Alansari and Kazuhiro Hirao	194-198
ルイス・カーンのキーワード連関に基づいたデザイン発想・設計ツールの作成とその有効性に関する研究	共著	2017年3月	日本建築学会計画系論文集(第82巻第733号)	遠藤直久, 吉岡慶祐, 平尾和洋	613-623
The Impact of Bimaristans Design on Design Factors of Therapeutic Buildings -An Environmental Field Study in Makkah, Saudi Arabia-	共著	2017年4月	International Design Journal (volume 7 巻 issue2号)	Alanoud Alansari, Kazuhiro Hirao	59-66
Towards a Methodology for Evaluating Architectural Heritage Preservation Methods	共著	2017年6月	Journal of Civil Engineering and Architecture (volume 7 巻 issue6号)	Alanoud Alansari, Yousra Bin Mosaad, Kazuhiro Hirao	550-558
Towards a systematic approach to preserving historic buildings -A case study for the maintenance and restoration of the Kaaba during the Islamic Era	共著	2017年10月	International Design Journal (volume 7 巻 issue4号)	Alanoud Alansari, Yousra Bin Mosaad, Kazuhiro Hirao	161-176

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
奈良市街地における景観デザイン誘導に関する研究その2—奈良市と京都市の景観計画の比較を通じた具体的規制内容の改善提案—	共著	2017年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第57号	小林和敬, 杉森大起, 遠藤直久, 平尾和洋
奈良市街地における景観デザイン誘導に関する研究その1—奈良市と京都市の景観計画の比較を通じた規制エリア構成の改善提案—	共著	2017年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第57号	小池潤, 杉森大起, 遠藤直久, 平尾和洋
オートマティック・ドローイングを用いたデザイン発想・設計支援ツールの作成とその有効性に関する考察	共著	2017年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第57号	遠藤直久, 藤関利光, 平尾和洋
医療建築における脱施設化の定量的な考察に基づいた参考情報が建築設計に及ぼす影響に関する研究	共著	2017年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第57号	佐藤峻亮, 川村真弘, 遠藤直久, 平尾和洋
ルイス・カーンのキーワード連関に基づいた設計支援ツールにおける実務設計者の設計プロセスに関する考察	共著	2017年7月	日本建築学会北陸支部研究報告集第60号	石川一平, 遠藤直久, 平尾和洋

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
ルイス・カーンのキーワード連関に基づいた設計支援ツールにおける実務設計者の設計プロセスに関する考察（その1-2）	共著	2017年8月	日本建築学会大会学術梗概集	石川一平, 遠藤直久, 平尾和洋
オートマチック・ドローイングを用いたデザイン発想・設計支援ツールの作成とその有効性に関する考察（その1-2）	共著	2017年8月	日本建築学会大会学術梗概集	奥浩, 藤関利光, 遠藤直久, 平尾和洋
奈良市街地における景観デザイン誘導に関する研究その2 奈良市と京都市の景観計画の比較を通じた具体的規制内容の改善提案	共著	2017年9月	日本建築学会大会学術梗概集	小玉寧人, 杉森大起, 平尾和洋
奈良市街地における景観デザイン誘導に関する研究その1 奈良市と京都市の景観計画の比較を通じた規制エリア構成の改善提案	共著	2017年9月	日本建築学会大会学術梗概集	西村祐香, 杉森大起, 平尾和洋

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	深川 良一

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Using hydrological and hydraulic models in regulation of Hoabinh reservoir	共著	March 2017	Proc. of the 7th Vietnam/ Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues, Paper No.S1-1	Lai V. HOANG, Cuong T. NGUYEN, Huong T. D U O N G and R. FUKAGAWA	S1-1: 1-8
Slope failures and liquefaction disasters due to Kumamoto earthquake in April 2016	共著	March 2017	Proc. of the 7th Vietnam/ Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues, Paper No.S2-1	Ryoichi FUKAGAWA, Masamitsu FUJIMOTO and Yuko ISHIDA	S2-1: 1-11
Study on the optimum structure of open-wing type earth anchor	共著	March 2017	Proc. of the 7th Vietnam/ Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues, Paper No.S2-2	K. KONO, A. NAKHASHI, D. DONG, T. YAMATO, M. FUJIMOTO, R. FUKAGAWA and N. FUKUSHIMA	S2-2: 1-8
Liquefaction simulation using LIQCA program for a cite of Osaka Gulf coast	共著	March 2017	Proc. of the 7th Vietnam/ Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues, Paper No.S2-3	T. OKANO, K. SUGITO and R. FUKAGAWA	S2-3: 1-8
Numerical simulation on liquefaction and relating behavior of underground structure at a cite of Osaka Gulf coast	共著	March 2017	Proc. of the 7th Vietnam/ Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues, Paper No.S2-4	K. SUGITO, T. OKANO and R. FUKAGAWA	S2-4: 1-8
Effects of rainfall characteristics and weathered bedrock layer on a large landslide	共著	March 2017	Proc. of the 7th Vietnam/ Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues, Paper No.S2-5	M. FUJIMOTO, K. K O S U G I and R. FUKAGAWA	S2-5: 1-8
Study on settlement of inclined stupa at Ayutaya, Thailand	共著	March 2017	Proc. of the 7th Vietnam/ Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues, Paper No.S2-6	Y. ISHIDA, A. OYA, C. D E N P A I B O O N , D. RINCHUMPHU, Y. TOYOTA, H. KANEGAE, M. FUJIMOTO and R. FUKAGAWA	S2-6: 1-8
Research and prototype of adobe straw brick	共著	March 2017	Proc. of the 7th Vietnam/ Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues, Paper No.S3-7	Cuong T. NGUYEN, Anh T. NGUYEN, Thang V. NGUYEN, Hoai T. L, Thu T. PHAM and R. FUKAGAWA	S2-7: 1-8
Effect of rice straw on durability of the improved soil using locally generated materials under dry-wet cyclic condition	共著	March 2017	Proc. of the 7th Vietnam/ Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues, Paper No.S3-8	A. OYA, S. IIDA, T. YAMATO, T. NAKATA, M. FUJIMOTO and R. FUKAGAWA	S3-8: 1-8
Geohazards occurred in Kumamoto Earthquake, 2016	共著	Sept., 2017	Proc. of the 1st Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and the Environmental Issues, SS-1	R. FUKAGAWA, M. FUJIMOTO and Y. ISHIDA	SS-1: 1-10

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Some characteristics of 2017 flood season and the operating of large reservoirs network in northern Vietnam	共著	Sept., 2017	Proc. of the 1st Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and the Environmental Issues, SS-2	Cuong T. NGUYEN, Anh T. NGUYEN, Thao P. TRINH and R. FUKAGAWA	SS-2: 1-8
Coupling hydrological - hydraulic models for flood simulating in tich river Basin: Cuong	共著	Sept., 2017	Proc. of the 1st Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and the Environmental Issues, S1-4	T. NGUYEN, Lai V. HOANG and R. FUKAGAWA	S1-4: 1-8
Set up rainfall-runoff models for simulating inflow of ban chat reservoir	共著	Sept., 2017	Proc. of the 1st Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and the Environmental Issues, S1-5	Cuong T. NGUYEN, Thao P. TRINH, Huong T.T. DUONG and R. FUKAGAWA	S1-5: 1-8
Experimental research towards development of open wing-type anchor	共著	Sept., 2017	Proc. of the 1st Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and the Environmental Issues, S2-3	A. NAKAHASHI, K. KOHNO, DONG DACHAO, N. FUKUSHIMA, M. FUJIMOTO and R. FUKAGAWA	S2-3: 1-8
Consideration about causes of the Wat Krasai stipa inclination in Ayutthaya, Thailand	共著	Sept., 2017	Proc. of the 1st Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and the Environmental Issues, S2-5	Y. ISHIDA, A. OYA, C. DENPAIBOON, M.FUJIMOTO and R. FUKAGAWA	S2-5: 1-7
Effects of initial water content and rice straw on the unconfined compression characteristics of soil improved using locally generated materials	共著	Sept., 2017	Proc. of the 1st Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and the Environmental Issues, S3-3	A. OYA, T. YAMATO, H. NAKUI, M. FUJIMOTO and R. FUKAGAWA	S3-3: 1-8
Characteristics of Groundwater Response to Precipitation for Landslide Prevention at Kiyomizu-Dera	共著	2017年10月	Journal of Disaster Research, Vol.12, No.5	Danjo, T. Ishizawa, M. Fujimoto, N. Sakai, and R. Fukagawa	pp. 993-1001
実大規模斜面崩壊実験による超音波土中水分水位測定システムの有用性検証	共著	2017年10月	土木学会論文集C（地圏工学）,Vol.73、No.4	平岡伸隆，田中克彦，岩佐直人，酒匂一成，藤本将光，酒井直樹，深川良一	pp. 330-341
液状化解析プログラム LIQCA を用いた大阪湾岸域における液状化被害に及ぼす列車荷重の影響評価	共著	2017年11月	関西ジオシンポジウム論文集	岡野哲也・杉藤溪太・白波・深川良一	pp. 156-161
液状化がトンネルに与える影響と液状化対策工による地盤改良効果の解析的検証	共著	2017年11月	関西ジオシンポジウム論文集	杉藤溪太・岡野哲也・白波・深川良一	pp. 162-167
斜面内のパイプ流による地下水位の変動に関する実験的考察	共著	2017年11月	関西ジオシンポジウム論文集	伊良知慎太郎・平岡伸隆・稲垣大基・藤本将光・田中克彦・深川良一	pp. 186-189
超音波導波管を用いた現場透水試験法の提案	共著	2017年11月	関西ジオシンポジウム論文集	稲垣大基・伊良知慎太郎・平岡伸隆・藤本将光・田中克彦・深川良一	pp. 190-195

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
新しい拡張翼型アンカーにおける拡張部の最適構造に関する研究	共著	2017年5月	平成29年度土木学会関西支部年次学術講演会、Ⅲ-17	河野恒太、福島信夫、中橋明久、董大超、藤本将光、深川良一
液状化解析プログラム LIQCA を用いた埋立て地盤の耐液状化特性の検証	共著	2017年5月	平成29年度土木学会関西支部年次学術講演会、Ⅲ-32	岡野哲也、杉藤溪太、深川良一
大阪湾岸の平野部における液状化現象に関する数値シミュレーション	共著	2017年5月	平成29年度土木学会関西支部年次学術講演会、Ⅲ-33	杉藤溪太、岡野哲也、深川良一
スクリュウオーガによる地盤掘削情報を利用した土の強度定数の推定に関する研究	共著	2017年5月	平成29年度土木学会関西支部年次学術講演会、IV-1	栗原健伸、大和田和夫、深川良一
超音波導波管を用いた透水試験法の室内土槽による評価	共著	2017年5月	平成29年度土木学会関西支部年次学術講演会、Ⅲ-6	稲垣大基、伊良知慎太郎、平岡伸隆、藤本将光、田中克彦、深川良一
模擬パイプ流を用いた室内降雨実験	共著	2017年5月	平成29年度土木学会関西支部年次学術講演会、Ⅲ-7	伊良知慎太郎、稲垣大基、平岡伸隆、藤本将光、田中克彦、深川良一
SPH法解析による地盤改良の効果検証に関する一考察	共著	2017年5月	平成29年度砂防学会研究発表会、Pb-26	大矢綾香、山戸貴嗣、藤本将光、深川良一
拡張翼型アンカー開発に関する実験および解析的検討	共著	2017年5月	平成29年度砂防学会研究発表会、Pb-27	中橋明久、河野恒太、董大超、福島信夫、深川良一
地震の影響を受けた盛土斜面における降雨時斜面安定性に関する実験的考察	共著	2017年5月	平成29年度砂防学会研究発表会、Pa-10	野中慎介、平岡伸隆、角宏一、藤本将光、深川良一
超音波導波管を用いた現場透水試験法の提案平成	共著	2017年5月	平成29年度砂防学会研究発表会、Pb-02	稲垣大基、平岡伸隆、伊良知慎太郎、藤本将光、田中克彦、深川良一
模擬パイプ流を用いた室内降雨実験による斜面内水分動態に関する研究	共著	2017年5月	平成29年度砂防学会研究発表会、Pb-04	伊良知慎太郎、平岡伸隆、稲垣大基、藤本将光、田中克彦、深川良一
稲わらの有無が乾湿繰り返し環境下での改良土の耐久性に与える影響に関する一考察	共著	2017年7月	第52回地盤工学研究発表会、795	大矢綾香、中田貴大、飯田悟、山戸貴嗣、藤本将光、深川良一
初期含水比の違いが改良土の力学特性に与える影響に関する検討	共著	2017年7月	第52回地盤工学研究発表会、285	山戸貴嗣、大矢綾香、飯田悟、中田貴大、藤本将光、深川良一
地震後の盛土斜面における降雨時斜面安定性の実験的考察	共著	2017年7月	第52回地盤工学研究発表会、930	野中慎介、平岡伸隆、角宏一、藤本将光、深川良一
熊野参詣道横垣峠における地下水位モニタリングに基づく計測地点選定に関する一考察	共著	2017年7月	(公社)地盤工学学会、第52回地盤工学研究発表会、名古屋国際会議場	石田優子、木林幹、古根川竜夫、藤本将光、深川良一

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
弾性体を利用した孔内載荷試験装置					特許第2571419号	

研究業績書

対象期間	2017 年 1 月 1 日～ 2018 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	福水 洋平

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Super-resolution on Pixel Values Selection for Degraded Image Recognition by Support Vector Machine	共著	2017 年 8 月	21st Triennial Meeting of the International Association of Forensic Sciences 2017 (277 巻 Supplement 1 号)	Hiroo Tsuji, Yohei Fukumizu, Takakuni Douseki, Hironori Yamauchi	248
Retinex モデルにおけるサポートベクター回帰を用いた劣化ナンバープレート画像の輝度値補正手法と文字認識への応用	共著	2017 年 10 月	画像電子学会誌 (46 巻 4 号)	辻広生, 福水洋平, 道関隆国, 山内寛紀	510-521
Example-based face image super-resolution taking into consideration correspondence of facial parts	共著	2017 年 11 月	IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering (12 巻 6 号)	Suhail Hamdan, Yohei Fukumizu, Tomonori Izumi, Hironori Yamauchi	917-924

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
多重解像度画像を用いた劣化ナンバープレート平仮名画像認識	共著	2017 年 3 月	電子情報通信学会 2017 総合大会	辻広生, 福水洋平, 道関隆国, 山内寛紀, 横山智之, 吉川歩
Super-resolution on Pixel Values Selection for Degraded Image Recognition by Support Vector Machine	共著	2017 年 8 月	21st Triennial Meeting of the International Association of Forensic Sciences 2017	Hiroo Tsuji, Yohei Fukumizu, Takakuni Douseki, Hironori Yamauchi
顔部品の位置を考慮した学習型顔画像超解像	共著	2017 年 9 月	知覚情報 次世代産業システム 合同研究会	Suhail Hamdan, 福水洋平, 泉知論, 山内寛紀
ブロックノイズにより劣化した顔画像の学習型復元手法	共著	2017 年 12 月	システム研究会	Suhail Hamdan, 福水洋平, 泉知論, 山内寛紀

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	助教	藤井 健史

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
渋谷における微地形と角地建築の床面構成の関係に関する考察	共著	2017年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	丸山航・郷田桃代・藤井健史	697-698
青島における里院の空間構成に関する調査・分析—里院の生成・活用に向けて—	共著	2017年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	ウチョウ・郷田桃代・藤井健史	983-984
神楽坂地域における袋小路の形態と建物のアクセシビリティに関する分析	共著	2017年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	金森勇樹・郷田桃代・藤井健史	315-316
細街路の更新に伴う景観変化のシミュレーション分析—新宿区神楽坂3・4丁目を対象として	共著	2017年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	伊藤翔治・郷田桃代・藤井健史	739-740
樹木の形状と配置が緑視率に与える影響に関する基礎的考察とランダム配置シミュレーションの試行	共著	2017年12月	第40回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集	藤井健史・山田悟史	221-224

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
特定の景観要素に着目した可視量分析から得る計画の手がかり	単著	2017年12月	第82回空間研究小委員会研究会日本におけるスペースシンタックス研究の広がり可能性	藤井健史

研究業績書

対象期間	2017 年 1 月 1 日～2018 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	藤本 将光

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Characteristics of groundwater response to precipitation for landslide prevention at Kiyomizu-Dera	共著	2017 年	Journal of Disaster Research (21 巻 5 号)	Danjo T., Ishizawa T., Fujimoto M., Sakai N., and R. Fukagawa	993-1001
実大規模斜面崩壊実験による超音波土中水分水位測定システムの有用性検証	共著	2017 年	土木学会論文集 C (73 巻 4 号)	平岡伸隆, 田中克彦, 岩佐直人, 酒匂一成, 藤本将光, 酒井直樹, 深川良一	330-341
清水寺周辺溪流における土石流氾濫解析に基づくハード対策の提案	共著	2017 年	Kansai Geo-Symposium 2017 論文集	縄手洋介, 梶山敦司, 藤本将光, 里深好文	254-259
超音波導波管を用いた現場透水試験法の提案と現地実証	共著	2017 年	Kansai Geo-Symposium 2017 論文集	稲垣大基, 平岡伸隆, 伊良知慎太郎, 藤本将光, 田中克彦, 深川良一	186-189
京都市清水寺境内斜面における水文観測	共著	2017 年	砂防学会誌	藤本将光, 檀上徹, 平岡伸隆, 深川良一	43-47

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
地形曲率の標準偏差による崩壊危険地の評価	共著	2017 年 3 月	第 128 回日本森林学会大会	戸田堅一郎, 藤本将光, 宮田秀介, 山川陽祐, 大丸裕武
超音波導波管を用いた現場透水試験法の提案	共著	2017 年 5 月	平成 29 年度 砂防学会研究発表会	稲垣大基, 平岡伸隆, 伊良知慎太郎, 藤本将光, 田中克彦, 深川良一

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
土壌水量を用いた斜面崩壊危険度の簡易判定手法	本学共同		2015-102216			
透水試験装置および透水試験方法	本学共同		2013-193946			

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	宗本 晋作

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
GISを用いた木造密集市街地における袋路の避難経路の抽出方法に関する研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 11	雪谷亮太・宗本晋作・山田 悟史・北本英里子	143-150

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
H-House	単著	2017年11月 11日～16日	2017 BUGAIK International Architecture Exhibition at Busan	宗本晋作

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間 (西暦可)
韓国ドンレ駅保存に向けての調査報告書	共同	釜山	2017年9月～ 2018年2月

研究業績書

対象期間	2017 年 1 月 1 日～ 2018 年 3 月 31 日		
所属	職名	氏名	
理工学部	教授	持田 泰秀	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
熱可塑性樹脂を用いた炭素繊維スタンロッドの実用化に関する研究 —fa-bo (ファーボ) 耐震補強対応を事例とした施工生産性の検討—	共著	2017 年 7 月	日本建築学会第 33 階建築生産シンポジウム	井本悠介・持田泰秀	205-210
Study on Strength Estimation of Soil Cement Used in the Embedded Pile Method by Electrical Resistivity Measurement	共著	2017 年 9 月	2017 International Conference on Building Materials and Materials Engineering (ICBMM 2017) (B0005 巻)	Y Mochida, Y Sakurai, H Indra, A L Karimi	
PROMOTION OF ICT UTILIZATION BY ELECTRIC RESISTIVITY MANAGEMENT IN FLUIDIZATION TREATMENT PROCESS FOR GROUND IMPROVEMENT	共著	2017 年 11 月	International Journal of GEOMATE (13 巻 29 号)	Mochida・I.Hardi	164-171
熱可塑性樹脂を用いた炭素繊維ストランドロッドの開発	共著	2017 年 11 月	日本建築学会第 12 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム	持田泰秀・櫻井祥人・井本悠介	65-1, 65-8

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
電気比抵抗測定器の作製とその利用に関する研究 (埋込み杭工法における現場測定の見直し)	共著	2017 年 7 月	第 52 回地盤工学研究発表会	沢田亮介・持田泰秀・藤井衛
電気比抵抗調査を用いた埋込み杭工法におけるソイルセメントの強度予測に関する研究 (室内試験での材齢と一軸圧縮強度の関係より)	共著	2017 年 7 月	第 52 回地盤工学研究発表会	櫻井洋人・持田泰秀・藤井衛
電気比抵抗調査を用いた埋込み杭工法におけるソイルセメントの強度予測に関する研究 (室内試験での材齢と一軸圧縮強度の関係)	共著	2017 年 8 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	櫻井洋人・持田泰秀・藤井衛

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間 (西暦可)
公共施設等総合管理計画の立案 (福津市)	共同		2015 年 12 月 1 日 ～ 2017 年 3 月 31 日

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	矢野 桂司

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Historical Atlas (in Korean)	単著	2017年2月	Northeast Asian History Foundation	Virtual Kyoto: Perspectives on Historical GIS and spatial humanities (in Korean)	175-191
市民参加型 GIS による祭礼景観の復原—昭和30年以前の京都祇園祭の山鉾行事における松原通一—	共著	2017年3月	若林芳樹・今井修・瀬戸寿一・西村雄一郎編著『参加型 GIS の理論・技術・応用』、古今書院	矢野桂司・佐藤弘隆・河角直美	118-124
ジオデザインにおける市民参加の可能性	単著	2017年3月	若林芳樹・今井修・瀬戸寿一・西村雄一郎編著『参加型 GIS の理論・技術・応用』、古今書院	矢野桂司	22-27
3D structures, acquisition	単著	2017年3月	American Association of Geographers, The Wiley-AAG International Encyclopedia of Geography, Wiley	Keiji Yano	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
『平安京オーバーレイマップ』の開発と拡張に関する一考察	単著	2017年2月	立命館文学 (649号)	矢野桂司・今村聡・高野明彦・阿辺川武	196-185
GIS をベースとした国勢調査のデータ公開の現状と課題—日本と英国の比較を通して—	単著	2017年3月	立命館文学 (650号)	矢野桂司	263-282
二つの『京都市明細図』の概要とその GIS データベースの構築—京都府立総合資料館所蔵本と長谷川家住宅所蔵本—	共著	2017年7月	地理学評論 (90巻4号)	河角直美・矢野桂司・山本峻平	390-400
Collision Visualization of a Laser-Scanned Point Cloud of Streets and a Festival Float Model used for the Revival of a Traditional Procession	共著	2017年9月	The International Archives of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences, Volume XLII-2/W7, 2017 ISPRS Geospatial Week 2017, 18-22 September 2017, Wuhan, China. Volume XLII-2/W7 2017/09 10.5194/isprs-archives-XLII-2-W7-255-2017	Route Weite Li, Kenya Shigeta, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Keiji Yano, Satoshi Tanaka	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
日本版 Map Warper の構築と活用	共著	2017 年 10 月	地理情報システム学会講演論文集（27 巻）	矢野桂司・鎌田遼	1-4
すまいの耐震化の普及・支援のためのジオデモグラフィックスの活用	共著	2017 年 10 月	地理情報システム学会講演論文集（27 巻）	上杉昌也・矢野桂司	1-4
クラウドソーシングを活用した写真資料（古写真）の地理情報等の同定方法の検討とその課題－京都市電のデジタルアーカイブ写真を事例として－	共著	2017 年 10 月	地理情報システム学会講演論文集（27 巻）	高橋彰・河角直美・矢野桂司・山路正憲・山本俊平・佐藤弘隆・今村聡	1-4
京都地籍図を用いた大正期における地価の時空間分析	共著	2017 年 10 月	地理情報システム学会講演論文集（27 巻）	青木和人・矢野桂司・中谷友樹	
デジタルアーカイブ写真の GIS 化とその活用－「京都の鉄道・バス写真データベース」の構築－	共著	2017 年 12 月	人文科学とコンピュータシンポジウム論文集（情報処理学会シンポジウムシリーズ（2017 巻 24 号）	山本峻平・佐藤弘隆・高橋彰・河角直美・井上学・矢野桂司	31-36
ハーバード大学の地理学と GIS の盛衰と展開	単著	2017 年	理論地理学ノート（19 巻）	矢野桂司	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
オープンプラットフォームによる日本の古地図オンラインの構築	共著	2017 年 3 月	日本地理学会春季学術大会	矢野桂司・鎌田遼
ジオデザインによる京都府与謝野町の将来計画	共著	2017 年 3 月	日本地理学会春季学術大会	谷端郷・矢野桂司・中谷友樹・花岡和聖

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	山崎 有恒

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
「歴史観の形成」という試み—高等教育における一般教養としての歴史学の意義	単著	2017年1月	『立命館文学』(649号)	山崎有恒	315-308 頁

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
トランスナショナルデジタルアーカイブの構築による日本近代植民地史の構築	単独	2017年2月	国際カンファレンス「アジアの都市・地域研究の課題と展望」	山崎有恒
「言路洞開」をめぐる	単独	2017年5月	立命館大学公議研究会	山崎有恒

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	講師	山田 悟史

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
帰宅困難者数と未収容者の推計と避難施設の適正配置に関する研究—京阪神都市圏外を含めた京都市への来訪者を対象として—	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集 (11巻)	北本英里子, 山田悟史, 及川清昭	191-198
GISを用いた木造密集市街地における袋路の避難経路の抽出方法に関する研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集 (11巻)	雪谷亮太, 宗本晋作, 山田悟史, 北本英里子	143-150

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
市民へのBLS普及の有効性検証と目標値の設定—ランニング中の心肺停止を想定したシミュレーション—	共著	2017年5月	第20回日本臨床救急医学会総会・学術集会	山田悟史, 遠藤伸太郎, 小峯力
HMDを用いた空間知覚に関する研究—空間の囲われ感を対象とした被験者実験—	共著	2017年8月	日本建築学会大会(中国)学術講演梗概集, pp. 17-18, 2017.8, 日本建築学会	北本英里子, 山田悟史, 及川清昭
テキストマイニングを用いた一次救命処置をためらう要因の探索的検討	共著	2017年10月	第3回日本救護救急学会総会・学術集会	遠藤伸太郎, 山田悟史, 尾山大基, 石川仁憲, 小峯力
地方町村における高齢者の食生活に関する主観的評価と都市の構成要素の関係	共著	2017年12月	第40回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp. 143-146, 2017.12, 日本建築学会	清水淳平, 北本英里子, 石井政雄, 山田悟史
歴史的建造物における非合理的避難の割合と被害の推移に関する研究—松山城を対象としたマルチエージェントシミュレーションを用いて—	共著	2017年12月	第40回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp. 159-162, 2017.12, 日本建築学会	中島昌暉, 山田悟史, 佐野友紀
Deep Learningを用いた街並み画像の分類と感性評価の推定	共著	2017年12月	第40回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp. 329-329, 2017.12, 日本建築学会	高橋秀彬, 山田悟史

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	吉富 信太

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Direct linear system identification method for multi-story three-dimensional building structure with general eccentricity	共著	2017.3	Frontiers in Built Environment	K.Shintani, S.Yoshitomi and I.Takewaki	pp. 1-
伝統構法木造仕口の復元力特性と摩擦の効果	共著	2017.7	歴史都市防災論文集 (11巻)	棚橋秀光, 吉富信太, 須田達, 大岡優, 岩本いづみ, 鈴木祥之	pp. 87-94
構造ヘルスマニタリングにおける複数振動波形記録の事後同期補正法	共著	2017.12	日本建築学会, 構造系論文集	佐田貴浩, 谷慎太郎, 吉富信太	pp. 1873-1883

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
常時微動計測および起振機加振に基づく木造三重塔の振動特性の推定	共著	2017.3	日本建築学会中国支部研究報告集	向坊恭介, 瀧野敦夫, 吉富信太
Application Procedure for Optimized Placement of Buckling Restrained Braces in Reinforced Concrete Building Structures	共著	2017.4	World Academy of Science, Engineering and Technology, International Journal of Civil, Environmental, Structural, Construction and Architectural Engineering	S. A. Faizi, S. Yoshitomi
基礎免震と連結制振のハイブリッドシステムに対する連結ダンパーの最適配置法	共著	2017.6	日本建築学会近畿支部研究報告集	小嶋健太郎, 吉富信太
偏心立体骨組の縮約モデルを用いた高精度時刻歴応答解析法および省略自由度応答の復元法	共著	2017.6	日本建築学会近畿支部研究報告集	明野真大, 吉富信太
PC梁を有する架構の有限要素モデルを用いた緊張力導入の影響に関する検討	共著	2017.8	日本建築学会大会(中国)	谷慎太郎, 吉富信太
機械学習を用いた鉄鋼系工業化住宅における構造最適化に関する研究	共著	2017.8	日本建築学会大会(中国)	小田哲也, 吉富信太
多層構造物におけるTMD床の最適配置法を用いたTMD床の課題の検討	共著	2017.8	日本建築学会大会(中国)	津留崎聖斗, 吉富信太
偏心を有する剛床立体多層建物に対するシステム同定法	共著	2017.8	日本建築学会大会(中国)	新谷謙一郎, 吉富信太
構造ヘルスマニタリングのための複数計測振動波形の同期補正法	共著	2017.8	日本建築学会大会(中国)	柴井太希, 吉富信太
伝統構法木造仕口の繰り返し復元力特性に関する研究(その1)摩擦を除去した回転めり込み実験	共著	2017.8	日本建築学会大会(中国)	吉富信太, 棚橋秀光, 岩本いづみ, 鈴木祥之
長ほぞ込接合部の動的特性に関する基礎的研究	共著	2017.8	日本建築学会大会(中国)	田淵敦士, 吉富信太

研究発表等				
発表題名	単著・ 共著の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Structural Optimization Method for 3D Reinforced Concrete Building Structure with Shear Wall	共著	2017.9	World Academy of Science, Engineering and Technology, International Journal of Civil and Environmental Engineering	H. Nikzad, S. Yoshitomi

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
総合科学技術研究機構	専門研究員	石田 優子

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
STUDY ON SETTLEMENT OF INCLINED STUPA AT AYUTTHAYA, THAILAND	共著	2017.3	Proceedings of the 7th Vietnam/Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues	Y.Ishida, A.Oya, C. Denpaiboon, D.Rinchumphu, Y. Toyota, H.Kanegae, M. Fujimoto, R.Fukagawa	S2-6, 1-8
【短報】 マップコンテストによる子どもの防災・防犯教育への取り組みの成果と課題—「第10回夏休みにみんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告—	共著	2017.3	京都歴史災害研究, 第18号	谷端郷、崔明姫、石田優子、金度源	41-46
通潤橋の地震応答特性に関する研究	共著	2017.9	土木学会論文集 A1	伊津野和行、石田優子、藤本将光、深川良一	1-1-1-8
CONSIDERATION ABOUT CAUSES OF THE WAT KRASAI STIPA INCLINATION IN AYUTTHAYA, THAILAND	共著	2017.10	Proceedings of the 1st Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and the Environmental Issues	Y.Ishida, A.Oya, C. Denpaiboon, M.Fujimoto, R.Fukagawa	S2-5, 1-8
Estimation of initial ground conditions under stupas based on one-dimensional consolidation theory, Proceedings of the Seventh International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment	共著	2017.11	Proceedings of the Seventh International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment	Yuko Ishida, Ayaka Oya, Chaweewan Denpaiboon, Masamitsu Fujimoto and Ryoichi Fukagawa	275-280
平成23年台風12号に伴う熊野那智大社裏山の斜面崩壊・土石流の実態	共著	2017.11	関西ジオシンポジウム2017 論文集	矢野晴彦、辻野裕之、谷垣勝久、石田優子、後誠介、田内裕人、本塚智貴、江種伸之	250-253

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
熊野参詣道横垣峠における地下水位モニタリングに基づく計測地点選定に関する一考察	共著	2017.7	第52回地盤工学研究発表会	石田優子
Estimation of initial ground conditions under stupas based on one-dimensional consolidation theory	共著	2017.11	The Seventh International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment	Yuko Ishida

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間 (西暦可)
関西の地盤情報に基づくハザードマップ開発研究委員会委員, 世界遺産「熊野参詣道の観光防災マップ」第2回委員会	単独	大阪市立大学	2016.4-2019.3

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
みえ自然災害研究会委員, 「横垣峠における地下水位の変動特性と地盤構造」第1回委員会	単独	立命館大学	2017.9-2018.3
斜面動態モニタリングに基づく斜面安定性評価研究委員会委員	単独		2015.4-2018.3
JICA 研修講師: 「Sediment Disaster Risk Reduction at World Heritage Sites」	共同	立命館大学	2017.8.9

研究業績書

対象期間	2017年1月1日～2018年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	専門研究員	崔 明姫

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
自然災害による文化財の被害および修復費用に関する調査研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集 (Vol. 11 巻)	崔明姫、米島万有子、中谷友樹、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦	33-40
全国調査からみた文化財保有社寺における犯罪被害	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集 (Vol. 11 巻)	中谷友樹、米島万有子、崔明姫	25 -32
姫路城における大地震時の国内観光客の一斉帰宅抑制へ向けた滞在意図の変化に関する研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集 (Vol. 11 巻)	豊田祐輔、酒井宏平、崔明姫、鐘ヶ江秀彦	175 -182

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
マップコンテストによる子どもの防災・防犯教育への取り組みの成果と課題:「第10回夏休みにみんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告	共著	2017年3月	京都歴史災害研究第18号	谷端郷、崔明姫、石田優子、金度源
Economic Impacts on Tourism Industry in the 2016 Kumamoto Earthquakes: Based on a Survey to Tourism Related Business Offices	共著	2017年5月	The Pacific Regional Science Conference Organization (PRSCO) 2017	Mingji Cui, Qinglin Cui, Kohei Sakai, Hiroari Shimizu, Yusuke Toyoda and Hihehiko Kanegae
A Study on Disaster Management for Tourists after Earthquake in Himeji Castle, World Cultural Heritage Site	共著	2017年5月	The Pacific Regional Science Conference Organization (PRSCO) 2017	Yusuke Toyoda, Kohei Sakai, Mingji Cui and Hidehiko Kanegae
観光業ストックの被害による観光客意思決定の変化に関する調査研究	単著	2017年10月	日本地域学会第54回年次大会	崔明姫
熊本地震による観光業の被害と回復状況に関する調査研究	共著	2017年10月	日本地域学会第54回年次大会	崔明姫、酒井宏平、清水泰有、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦
姫路城世界遺産観光客の帰宅・滞在支援に関する研究	共著	2017年10月	日本地域学会第54回年次大会	酒井宏平、崔明姫、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦
情報行動としての観光客の避難行動の地域特性に関する分析	共著	2017年10月	日本地域学会第54回年次大会	崔青林、崔明姫、酒井宏平、園原諒、高橋雅和、兼田敏之
マップコンテストによる子どもの防災・防犯・交通安全教育への取り組みの成果と課題—「第11回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告—	共著	2018年3月	京都歴史災害研究第19号	谷端郷、崔明姫、石田優子

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
第11回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト:小学生を対象としたマップ作成講習会の実施(東広島市高美が丘小学校)	共同	東広島市高美が丘小学校(安全安心マップ作成の講義、フィールドワークの指導)	2017年11月13日

研究業績書

対象期間	2017 年 1 月 1 日～ 2018 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	専門研究員	谷端 郷

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
京都市大水害—GIS からのアプローチ—	単著	2017 年 9 月	安田善憲・高橋学編『自然と人間の関係の地理学』、古今書院	谷端郷	126-145

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
山奈宗真著『岩手沿岸古地名考』の書誌学的検討と内容分析	共著	2017 年 3 月	歴史地理学 59-2	谷端郷・村中亮夫・塚本章宏・花岡和聖・磯田弦	27-42
「記憶地図」を用いた無形の文化遺産の再生—宮城県南三陸町志津川地区における地域の祭礼を事例として—	共著	2017 年 7 月	歴史都市防災論文集 11	板谷直子・谷端郷・中谷友樹	223-230
マップコンテストによる子どもの防災・防犯・交通安全教育への取り組みの成果と課題—「第 11 回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告—	共著	2018 年 3 月 (予定)	京都歴史災害研究 19	谷端郷・崔明姫・石田優子	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
ジオデザイン・ワークショップ 2016—京都府与謝野町の将来計画—	共著	2017 年 4 月	2017 年度第 1 回歴史都市防災研究所定例研究会	矢野桂司・中谷友樹・花岡和聖・谷端郷
宮城県南三陸町志津川地区の祭礼を事例とした「記憶地図」調査の経過報告	共著	2017 年 5 月	2017 年度第 2 回歴史都市防災研究所定例研究会	板谷直子・谷端郷・中谷友樹
「記憶地図」を用いた無形の文化遺産の再生—宮城県南三陸町志津川地区における地域の祭礼を事例として—	共著	2017 年 7 月	第 11 回歴史都市防災シンポジウム	板谷直子・谷端郷・中谷友樹
スペースシンタックス理論に基づく道路構造と地域住民のリスク認知との関係	共著	2017 年 10 月	第 26 回地理情報システム学会研究発表大会	谷端郷・村中亮夫・中谷友樹